

三洋電機で大リストラ (国内削減1万数千人?) 始まる

「三洋社員は辞めてくれ!?!」

パナソニックの完全子会社となった三洋電機で、全社的なリストラが始まりました。

パナソニックは4月末、来年1月にグループ全体を再編し、2013年3月末までにグループ従業員38万5千人を35万人以下にするを発表しました。

また、国内での削減数は1万数千人で、そのほとんどが三洋電機従業員と報道されていました。

そして、大規模な配置転換と共に、希望退職募集が7月に鳥取の三洋コンシューマーエレクトロニクスで200人、8月に本社部門で400人、9月にはD1カンパニーでと、次々出てきました。大リストラのはじまりです。

従業員の間から、「会社はいろいろ理由をあげているが、つまるところ三洋のおいしい事業はいるが、社員はいらぬ、辞めてくれ」ということか、「パナソニックの一員になれるのはほんの一握りの人で、あとは余剰人員扱いとなるのでは…」など不安と怒りの声が上がっています。

組合は全力で対応を

「構造改革」の名のもとに、今後次々と打ち出される予定のパナソニック主導のリストラ策にたいして、三洋の労働組合は従業員を守るために総力を結集して闘うことが求められています。そのためには次のようなことが大切です。

- ・ 全組合員へ速やかに情報を開示する。
- ・ 職場討議など組合員同士が討議する機会を多く作る。
- ・ 組合員の意見を集約してその要求を実現するために会社・親会社と交渉する。
- ・ 異動した人が異動先で不利益な扱いを受けないようフォローする。

組合は、早期退職優遇措置（希望退職）が打ち出されたことに対して、「非自発的な退職者を絶対に出さない」と言っています。

しかし、これまでも、会社都合で仕事をなくされた上で遠隔地への異動が言われたり、家庭の事情を顧みない転勤を示唆され辞めざるをえなかったケースが多く発生しています。このような無理な異動や、余りにもスキルの合わない配置転換を言い渡された場合など、退職強要に等しい会社のやり方に対しては、本人の意向をよく聞き、組合が前面に出てきっぱりと中止させるべきです。労働者を守るため全力を尽くしましょう。

今の三洋電機は清算事業団のようだ。2年ぐらい前に、全社間接部門などの希望退職募集があったばかり。その後、パナの社長も、三洋の社長も人減らしは考えていないようなこと言っていたのに…。辞めても仕事ないだろうなあ。(守口)

もうやめてよ
人減らし!



枚方でも希望退職募集に該当する部門がある。会社の申し入れについて場討議を開催して欲しい。過去に早期退職した人に聞くと会社に残った方がいいみたい。みなさん残ってがんばりましょう。(枚方)

仕事が無くなりそうで非常に不安。三洋の経営者は元三洋の従業員が働き続けられる仕事を、キッチリ持って来て欲しい。(大東)

発行者：電機労働者懇談会
〒108-0073 東京都港区三田 3-2-20
Tel:03-3455-6006 FAX:03-3451-3595
編集：三洋電機労働者懇談会
発行 2011年9月 (号外)



退職強要をうけたら ご相談を
電機・情報ユニオン
電話：03-3455-6006 (東京)
090-9714-8780 (関西)
メール：info@denki-union.org

希望退職うちだされる/本社部門で400人、DIでも

みんなで、リストラをハネ返しましょう

パナソニック事業再編方針のもと三洋電機は、本社部門を対象に400人程度の募集ワクで希望退職をうちだしました。また、DIカンパニーでも希望退職を含めた協議にはいるとのこと。対象者は社員、準社員、シニアスタッフ(雇用延長者)、優遇措置として規定の退職金に加え特別加算金を支給、希望退職者に他視する再就職支援サービスが想定されています。ところで、これまでも同様の優遇措置のもとに多くの従業員が辞めていきました。その一人であるAさんは「思っていた何倍も再就職が大変。就職できたとしても給料はそれまでの半分程度と言うのが実情です」と言います。

会社の言いなりになっているだけでは生活も雇用も守れません。退職を打診されても一人で悩まず、みんなで力をあわせて闘い、リストラをハネ返しましょう。

あなたの「辞めない」の気持ちがあなたと家族を守ります

退職強要をハネ返す4ヶ条

- ① 「私はこの会社に残ります」この一言があなたと家族を守ります。
- ② それでも会社が「同意」をせまってくれば「これ以上の説得や面談はやめてください」ときっぱりといきましょう。
- ③ 「会社は大変」と言われたら、「私の生活も大変」と答え家族の顔を思い浮かべましょう。
- ④ 「同意するまで」何回も面談する「応じなければ仕事はない」などと迫れば違法です。「労働基準監督署か弁護士に相談します」といきましょう。

《 転勤・配転に「ノー」と答えるための5章 》

◆ 「行きたくない」は正当な理由

行きたくない、と思うすべての理由は正当です。他人(会社)が正当か否かを判断することは誤りです。

◆ 生活の危機を主張しましょう

「配転がいやなら辞めてください。残っても働く場はありません」には「辞めません、会社の都合ばかり言わないでください」と答えましょう。仕事を守り家族を守るのは労働者として当然です。

◆ 長年働いてきたことを主張しましょう

長年、苦労して積み重ねてきた知識・技能、人間関係などが水泡に帰してはたまりません。

◆ うまく言えないときは、だましましょう

うまくしゃべれない、自信がないときは、いろいろ言われてもだましましょう。

◆ ひとりで悩まず、多くの人と相談しましょう

一人で悩んでもいい知恵はでてきません。労働組合や信頼できる仲間、地域の民主団体等などに相談しましょう。

退職強要をうけたら、ひとりで悩まず、相談を 電機労働者懇談会・関西電機労働者懇談会へ !!

電話：03-3455-6006(東京) 06-6354-7237 または 090-9714-8780(関西) メール：denkikon@jcom.home.ne.jp

『電機労働者懇談会』は、電機労働者の生活と権利をまもるために討論し交流する組織として1988年6月に全国の電機の職場で働く仲間が、正規・臨時・パート・派遣の区別なく自主的に結成したもので、三洋電機でも『三洋電機労働者懇談会』が結成されました。会は機関紙として、情報誌『ELIC』(月刊1部100円)を発行しています。